

財団法人 8020 推進財団
平成 15 年度 歯科保健活動助成事業報告書

平成 15 年 3 月 31 日

財団法人 8020 推進財団

理事長 白田 貞夫 様

住所 422-8006 静岡市曲金 3 丁目 3 番 10 号

フリガナ シヤダノサダヲ シノオカケンシカイシカイ

申請団体名 社団法人 静岡県歯科医師会

代表申請者 会長 大久保 満 男

担当者氏名 飯 嶋



平成 15 年度歯科保健活動助成事業報告書を提出いたします。

- 事業名** 静岡県大仁町歯周病対策モデル事業
静岡県歯科医師会、静岡県、大仁町、田方歯科医師会
- 実施組織** 大仁町いきいきライフプラン町民会議、
大仁町健康づくり食生活推進協議会（大仁町 8020 推進員）
大仁町保健委員会
- 事業の目的** 県歯科医師会、県、町の支援のもと、住民及び企業と歯科診療所が共同し、地域ぐるみの歯周病対策を企画し実行することにより、静岡県における市町村レベルで行う歯周病対策のモデルを確立するとともに、健康を柱とした町づくりのモデルを志向する。
- 事業の概要**
1. 大仁町歯周病対策プロジェクト会議事業について
 - ・ 静岡県東部の伊豆半島中央部に位置する大仁町はこれまでも地域保健活動に熱心に取り組んできた実績がある。歯科保健についての会議を持ち、町で進めるう蝕予防対策としてのフッ化物洗口は平成 7 年に導入され、また歯周病健診は町行政の理解により、平成 14 年からは無料で行なわれている。
 - ・ こうした素地に着目し、本事業は健康日本 21 及び健康増進法に基づき、主体を地域住民とし、大仁町全体で町民の健康増進の指標として歯周病を位置づけ、静岡県、静岡県歯科医師会、田方歯科医師会がこの事業を支援していくことが了承され、事業推進のために

「大仁町歯周病対策プロジェクト会議」が結成された。

2. 当初は事業の評価を5項目のレベルで行う予定であった。

- 1) 地域活動:大仁町での8020推進員養成—15年度23名、計55名、
- 2) 知識:歯周病について
- 3) 意識:セルフケア
- 4) 行動:定期的歯科健診
- 5) 健康度:歯周病の罹患者率

※ 2)～5)については、大仁町民の現状把握をするための予備的なベースラインデータとして、2万人規模のアンケート調査を全県で実施し、県民の日常生活における歯周病に関する実態の把握に務めることとした。大仁町民への調査は、全県調査との整合性を見ながら、経年的に持続性があり事業評価に耐えうる内容を作成したが、平成17年4月から伊豆長岡町、韭山町と合併して新たに「伊豆の国市」が誕生することを踏まえて、16年実施の運びとなった。

実施事業

1. 大仁町歯周病対策プロジェクト会議の立ち上げ

- ・ 大仁町告示第59号で、大仁町歯周病予防対策プロジェクト会議の置運営要綱が定められた。

趣旨は、「大仁町は保健計画のうち住民の主体的参加のもとに、歯科保健事業、特に歯周病対策を推進することを通して、健康で心豊かな町づくりに寄与することを目的に会議を設置する」というものである。(資料1)

- ・ 上記運営要綱に従って、大仁町いきいきライフプラン策定ワークショップ関係者、健康づくり関係者、地区組織関係者等により、大仁町歯周病予防対策プロジェクト会議委員が選任されたが、この中に8020推進員や8020達成者がメンバーに入っている。(資料2)
- ・ 平成15年度事業計画に基づき事業が行われたが、事業内容は、住民側の関与する部分と専門家である大仁町在住の静岡県歯科医師会会員(8名)の受け持つ領域がある。

2. 研修のための講演会の開催

- ・ 「大仁町いきいきライフプラン町民会議」主催による事業の核となるリーダーのために歯周病予防講演会を開催した。歯周病は生活習慣病の一つであるが、その実態がどのようなものであるのか、食生活改善及び全身の健康との係わり、社会生活への影響等について、石井拓男東京歯科大学教授、寺岡加代東京医科歯科大学講師をお招

きして講演会を開催した。(資料3)

3・大仁町在住歯科医師への研修会の開催

- ・ 事業実施のある段階で、町民の口腔の健康管理と歯周病対策に歯科医師が関与することが必要になる。ここで大切なことは地域の歯科医師が、歯周病に関して知識・技術を共通のレベルに達していることである。こうしたことから、静岡県歯科医師会地域保健部が地域における歯周病対策の受け皿として、大仁町在住の静岡県歯科医師会会員(8名)へ歯周病について実技を交えた研修を行った。(資料4)

さらにプロジェクト会議委員の所属する団体等の要請に応じて、大仁町在住の歯科医師達は随時、歯周病を中心とした講演を行っている。

4. 大仁町8020ニュースの発行

- ・ 啓発・普及の一つとして「大仁町8020ニュース」を発行して、歯周病にまつわる情報を発信した。B-4見開きの大きさを8020運動、なぜ80歳で20本の歯が必要かなど、テーマごとに図表やグラフをつけ簡潔な説明をつける形式とした。3月末日までに3号まで発行している。(資料5)

5. 8020推進員の養成事業

- ・ 大仁町在住の53名の方々が、「8020健康静岡21推進会議」の主催する養成事業に参加し、所定の講義と実技を受け、8020推進員としての活動に参加することになった。

6. 歯科保健県民調査の実施

- ・ 静岡県の歯科保健活動を推進するための機構である「8020健康静岡21推進会議」は、大仁町のモデル事業を実施する前提として、県内各地で同様な事業が必要であると考えている。大仁町のモデル事業遂行の要となるベースラインデータを得る前に、全県規模で県民意識調査を実施し、大仁町の状況を客観的に把握することとした。
- ・ 調査内容及び担当者一覧は別紙にあるが、3月末日での集計は20、556中12、823通が回収され、回収率は62.4パーセントである。(資料6)

7. 大仁町歯周病対策作業部会の設置

- ・ 平成17年度4月1日より、3町の合併に伴い新たに「伊豆の国市」が誕生することになった。現行の事業は大仁町から市の事業として取り組むことが内定したが、規模の拡大に伴い戦略・戦術を修正することが必要になると考えられる。

- ・ 大仁町歯周病対策プロジェクト会議で検討するための計画立案、資料作成、実施中の調整、事業評価等を行う場として作業部会を設置することとした。
- ・ これまで歯周病については、個人レベルの対応が通常であったが歯周病を地域単位で捉える視点で、朝日大学歯学部口腔感染医療学講座 社会口腔保健学分野（磯崎篤則教授）が参加することになり、石津恵津子講師が実質的な役割を担うこととなった。

- 15 年度事業評価
1. 健康日本21（21世紀における国民健康づくり運動・平成13年）及びその具体的な推進を図るために制定された健康増進法（平成15年）により、歯科保健に関する事業が地域ごとに取り組んでいくことが可能となった。口腔の健康と全身の健康との関係も平成8年から始まった一連の厚生科学研究で科学的に明らかになってきている。また歯科の領域では平成元年から8020運動が提唱され、生活習慣病に占める口腔の健康の大切さが広く知られるようになってきている。
 2. しかし町民が自分の口腔の健康に留意し、定期的に歯科健診を受けること及び歯科医師側も診療所で健康相談に応じ、健康教育を行うことは現実には多くの困難を伴う。事業推進には町民・歯科医師双方が意識変革し、健康観を共有することが大切である。幸いに大仁町歯周病予防対策プロジェクト会議は、各方面から委員が就任して事業の立案、実施に関与する機構になっているので、歯周病対策の進展は町民の健康に寄与し、生き生きと充実した生活を保証できると予想される。
 3. 予定した事業は、啓発、推進員養成、町民講習会・勉強会の開催、歯周病予防教室の開催、歯科医師に対する歯周病予防管理の研修等については、順調な取り組みがなされたと考える。
 4. 一方、企業のモデル事業への参画は、今年度は「大仁町歯周病対策プロジェクト会議」で検討するにはいたらなかった。企業で過ごす時間が長いことから企業従事者への情報提供は重要であると思われる。
 5. 歯科衛生士による歯周病管理については、事業の必須の条件であるにもかかわらず、他地区同様に大仁町でも絶対数の不足が否めず、歯周病予防管理に習熟したフリーランスの歯科衛生士の養成が急務である。

今後の課題

12,000人を擁する大仁町の住民主体による歯周病対策事業は、初動の段階で処理すべき問題が山積し、予定どおりの進展が見られなかった感がある。しかし町ぐるみの取り組みが構築され、今後は町民の健康づくりに向けた活動が行われる体制は確保できたと思われる。

静岡県においては健康日本21を受けて、「しずおか健康創造21」が策定され、そのアクションプランの基底部にライフステージに対応する歯科保健目標値が設定されている。また静岡県歯科医師会は従来から「8020の里づくり」を構想として暖めてきている。

こうしたことを踏まえて、大仁町の歯周病対策モデル事業が果たす役割は、生活習慣病へアプローチする有力な手段であることを検証すると共に、地域社会の中で歯科医師会会員診療所が単に治療だけにとどまらず、地域住民の健康に貢献する場として活用される方向性を示すものと位置づけられる。同時に歯周病を予防したり、早期に抑制するための町ぐるみの活動は、有病者を多く抱える高齢社会への新たな価値を提示できるものであると考えられる。

大仁町告示第59号

大仁町歯周病対策プロジェクト会議設置運営要綱を次のように定める。

平成15年11月7日

大仁町長 望月良和



大仁町歯周病対策プロジェクト会議設置運営要綱

(設置)

第1条 大仁町は、保健計画のうち住民の主体的参加のもとに、歯科保健事業、特に歯周病対策を円滑に推進することを通して、健康で心豊かなまちづくりに寄与することを目的に、大仁町歯周病対策プロジェクト会議（以下「会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 会議は、その目的を達成するために次に掲げる事項を行う。

- (1) 歯科保健の実態把握に関すること。
- (2) 歯周病対策プロジェクトの企画・立案に関すること。
- (3) 歯周病対策プロジェクトの実行・調整に関すること。
- (4) 歯周病対策プロジェクトの推進状況の把握に関すること。
- (5) 歯周病対策プロジェクトの評価に関すること。
- (6) その他会議の目的達成に必要と認められること。

(組織)

第3条 会議の委員はおおむね25名以内とし、次の各号に掲げる者のうちから町長が選任する。

- (1) 大仁町いきいきライフプラン策定ワークショップ関係者
- (2) 大仁町健康づくり推進協議会委員
- (3) 8020推進員
- (4) 8020達成者
- (5) 地区組織関係者
- (6) 大仁町在宅栄養士関係者
- (7) JA伊豆の国農協健康づくり関係者
- (8) 大仁町内企業保健関係者
- (9) 田方郡歯科医師会関係者
- (10) 静岡県歯科医師会関係者
- (11) 大仁町在宅歯科衛生士関係者
- (12) 静岡県行政関係者
- (13) 町行政関係者のうちから町長が適当と認める者

(会長及び副会長)

第4条 会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会議を代表し、会務を総括する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年とする。ただし、その職に基づいて選任された委員の任期は、該当職にある期間とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は再任することができる。

(会議)

第6条 会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議には、必要に応じて委員以外の者を出席させて意見や説明を求めることができる。
- 3 会議は、必要に応じて随時開催する。

(庶務)

第7条 会議の庶務は、健康福祉課において処理する。

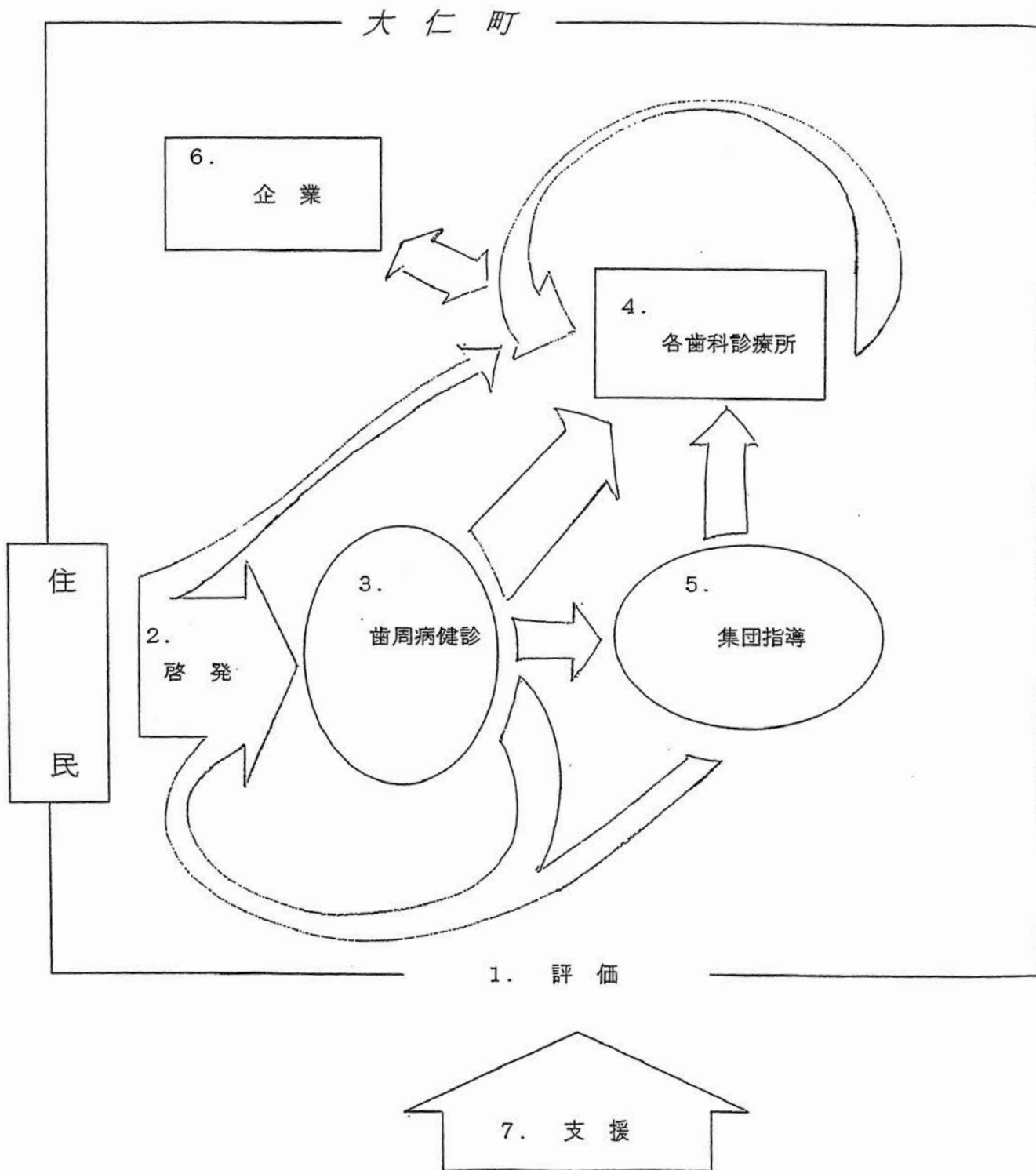
(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、公示の日から施行する。
- 2 この要綱施行後、最初に行われる会議は、第6条第1項の規定に関わらず町長が招集する。

大仁町歯周病対策モデル事業のために



大仁町歯周病対策プロジェクト会議委員名簿

(平成15年11月21日～平成17年11月20日)

		所 属 ・ 役 職 名	氏 名
1	委員 長	大仁町いきいきライフプラン策定ワークショップ代表	青 崎 美代子
2	副委員 長	大仁町栄養士代表	角 田 裕 子
3	委 員	大仁町いきいきライフプラン策定ワークショップ代表	伊 郷 まつ江
4	〃	大仁町健康づくり推進協議会会長	寺 門 敬 夫
5	〃	大仁町健康づくり食生活推進協議会代表	高 橋 千賀枝
6	〃	大仁町8020推進員代表	小 林 眞 理
7	〃	大仁町8020達成者代表	田 中 善 一
8	〃	大仁町民生委員・児童委員協議会会長	渡 邊 宗 次
9	〃	大仁町区長会会長	柳 原 一 彦
10	〃	大仁町女性の会会長	海 瀬 俊 子
11	〃	大仁町老人クラブ連合会会長	菊 池 寅 雄
12	〃	大仁町保健委員会会長	佐々木 恵美子
13	〃	〃 副会長	遠 藤 月 子
14	〃	JA伊豆の国農協田中支店長	石 川 藤 雄
15	〃	旭化成ファーマ(株)大仁支社環境安全部長	高 山 正 宏
16	〃	東芝テック(株)大仁事業所総務勤労担当グループ長	遠 藤 茂
17	〃	東静岡電気(株)総務部長	鈴 木 仁 嗣
18	〃	田方歯科医師会大仁支部長	鈴 木 秀 夫
19	〃	静岡県歯科医師会理事	西 原 和 行
20	〃	〃	原 田 雅 博
21	〃	静岡県歯科衛生士会会長	山 田 統 子
22	〃	大仁町在宅歯科衛生士代表	白 井 博 子
23	〃	東部健康福祉センター代表	中 村 宗 達
24	〃	大仁町健康福祉課長	濱 口 昭

大仁町歯周病予防講演会アンケート

団体に加入されている方は団体名を一般参加
の方は一般とお書きください。(_____)

このアンケートは歯周病予防事業の参考資料とさせていただきますので、ご協力をよろしく申し上げます。(帰りの際に受付までご提出ください。)

問1 講演の内容はいかがでしたか。(あてはまる項目全てに○をつけてください。)

わかった ふつう 難しかった おもしろかった

つまらなかった ためになった 良くなかった とても良かった

問2 今日、参加しての感想をお聞かせください。

[_____]

問3 次の機会には、どのような内容を聞きたいですか。または、どんな事業があったら良いと思いますか。

[_____]

ご協力ありがとうございました。

大仁町歯周病予防講演会アンケート（抜粋）

団体に加入されている方は団体名を一般参加

の方は一般とお書きください。（ _____ ）

このアンケートは歯周病予防事業の参考資料とさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。（帰りの際に受付までご提出ください。）

問1 講演の内容はいかがでしたか。（あてはまる項目全てに○をつけてください。）

わかった ふつう 難しかった おもしろかった
(19) (1) (0) (19)

つまらなかった ためになった 良くなかった とても良かった
(1) (25) (0) (11)

問2 今日、参加しての感想をお聞かせください。

- ・わかりやすいお話でとてもよかった。明日からできることから始めたい。
- ・このプロジェクトがすばらしいもので、いかに町民に浸透させていくかが今後の課題かを改めて思い知った。
- ・かむことがいかに健康に大切か良くわかり、友達に広めていきたい。
- ・年齢と睡眠時間の関係がわかりおもしろかった。
- ・住民参加型の話は目からうろこのように新鮮で興味を持ちました。

問3 次の機会には、どのような内容を聞きたいですか。または、どんな事業があったら良いと思いますか。

- ・歯のブラッシング方法を聞きたい。歯周病予防と治療法を知りたい。
- ・石井先生の話の中で練馬区の住民参加のアイデアを聞くことをやってみてほしいと思った。
- ・具体的な教室（かみかみ教室、歯と食の関係や歯と生活態度との関係）の講座をお願いしたい。
- ・寝たきりに近い状態の方の口腔清掃の方法を実施で見せてほしい。
- ・寿命主体ではなく、歯があることで楽しく生活できる等の講義を聴きたい。
- ・糖尿病の第6番目の合併症が歯周病であるとのことで、肥満や高血圧を含めて生活習慣病予防の話を知りたい。

「自分で考え行動を」

大仁で歯周病予防講演会



約70人が歯周病予防対策について講演を聴いた＝大仁町立図書館で



石井拓男さん



寺岡加代さん

街づくりは健康づくりから。テーマに、大仁町の「歯周病対策プロジェクト会議」(青崎美代子会長)は二十二日夜、町立図書館で歯周病予防講演会を開いた。地域住民や各種団体関係者、町内企業関係者ら約七十人が集まり、歯と健康づくりについて専門家の話を聴

いた。地域住民への啓発活動の一環で、東京医科歯科大学・医療政策学講座講師の寺岡加代さんが「豊かな老後はお口の健康か

ら、東京歯科大学・社会歯科学教授の石井拓男さんが「今求められる住民参加型の地域歯科保健」と題して講演を行った。寺岡さんは健康寿命の考え方や健康を支える条件について説明し、「健康寿命を伸ばすのに歯は大事な要素」と強調。また8,020達成者は達成していない人に比べ、かかる医療費が少ないこと

も言及した。石井さんは「歯科保健の現状を踏まえ、行政や歯科医師側が何を言うよりも、まずは地域の人たちが自分でこの問題を考え、行動を起

こしていかなければならぬのでは」と指摘した。同会議は、歯周病対策をはじめとする歯科保健事業を推進し、健康で心豊かなまちづくりをしよ

う」と昨年十一月にスタート。8,020達成者ら二十三人が委員として選任され、歯周病対策の効果的な進め方について検討を重ねている。

拓男教授が講演。寺岡氏は歯周病の基礎知識を説明し、食事や喫煙などの生活習慣と歯周病の関係を解説した。

伊豆日日新聞

平成16年1月24日(土)

静岡新聞

平成16年1月24日(土)

歯周病予防へ基礎学ぶ 大仁町が対策プロジェクト



大仁町は二十二日夜、町が推進する「歯周病対策プロジェクト」の一環として、歯周病予防講演会を町立図書館で開

いた。プロジェクト会議の委員を含む町民約七十人が受講した。「街づくりは健康づくりから」をテーマに、東京医科歯科大学の寺岡加代講師と東京歯科大学の石井

歯周病対策の重要性を学んだ講演会＝大仁町の町立図書館

拓男教授が講演。寺岡氏は歯周病の基礎知識を説明し、食事や喫煙などの生活習慣と歯周病の関係を解説した。

石井氏は「子供の虫歯への学校保健の取り組みは成功を見せているが、歯周病疾患への社会的理解はなかなか進まない」と問題提起し、東京都練馬区での住民の歯周病への取り組みを紹介。最後に「皆さんの努力で、大仁町の住民参加型の歯周病対策法をぜひ示してほしい」と集まった町民を激励した。